

ちいきのなかま通信

No.80

発行日：2020年4月14日

発行者：特定非営利活動法人 ちいきのなかま

ちいきのなかまは 2020年度も地道にコツコツ…目標は…

子どもと家族の幸せを願い、日々元気に活動する

人が大切にされ、社会からの信頼を得る組織になる

できるなら今年こそ黒字運営…をめざして活動を継続してまいります。



2020のちいきのなかま

目標達成の道標

健康を守るために笑顔で働く

コロナウィルス感染拡大で気分的に減入る不安な毎日。長期戦を前に「がはは！！」と笑って免疫力アゲアゲ作戦実行中！！

寄せられた寄付を有効活用

2019赤い羽根テーマ募金額は¥248,000になりました。産前産後家事サポート利用の補助50名の方に活用していただける予定です。可能なら事情によりお困りの方の産後のサポート料金補助も検討します。私たちの活動を信頼しご寄付いただいたことに感謝し、誠実に仕事をしたいと決意しています。

今年も円滑なより良くを目指すファミサポ運営

年々この事業の役割が重要になっています。事故なく支援できるよう、また会員さんひとりひとりの存在、ご経験と思いに感謝しつつ、仕事をしてまいります。近年、子ども虐待対応が厳格化される流れの中、子育て支援者に求められる力量や期待も高まっています。ひとりひとりの力は小さくても「よりよく」をみなさんとともに目指していけるいいチームになればと思っています。

組織の信頼を高めて行く取り組み

身の程しらずではありますが、今、グッドガバナンス認証申請中です。

☆☆☆グッドガバナンス認証については非営利組織評価センター：https://jcne.or.jp/evaluation/good_governance/をご参照ください。)

当法人は誕生から11年、設立当初からたくさんのトラブル・揉め事・事件・事故などに遭遇し、なんとか乗り越えて今に至る。その中でずっとずっと思ってきたことは組織運営を「きちんとしたい」でした。NPO法人のコンプライアンスとガバナンスを第三者から評価され、改善すべきを改善し、情報公開も行っていきます。

ずっと願ってきた「きちんとしたい」、認証を受けることができたらご報告いたします。

多分佐世保のNPOでは初めてのチャレンジかも…。

いらすとでみるちいきのなかま「〇〇のこ～んなかんじ」
ちいきのなかまの周りで起こる出来事をイラストで紹介☆

相談事業の こ～んなかんじ



困り事を抱えて私たちのもとを訪ねて来るときって、ふと存在を思い出していただいているんだと思います。話しやすいな、きっと聞いてくれそうだな…と常日頃から思っていたいているのでしょうか。ありがたいことです。

お話をお聞きすると、いつも笑顔なのにつらさを抱えていたんだ…きっといつもは封印していて、なにかの拍子にひょっこり問題が顔を出したのかもしれない。世間話や立ち話のように「困りごと」が告げられ、いつの間にか相談対応…に至る。直接来てくださる時もあるればお電話の時もあります。どちらにしても、相手の方の気持ちが不安定な時には本当に心配になります。とは言え、何が問題なのかがわからないまま中途半端に対応はできないので、ご本人と一緒に考え、方向性を見出していきます。ひとつの答えを導き出すこともですが、いくつかの可能性を見出し、できるだけ複数の選択肢を考えます。必要なら専門職も紹介します。複数の選択肢を探る節目節目にも一緒に考えさせていただきます。このようなプロセスの相談対応です。かかる時間とエネルギーを考えて、今回有料化に踏みきりました。ご理解いただけたらと思います。

今私たちは産前産後ケア事業に取り組んでいます。コロナウイルス感染拡大は出産前後の方々にも多く影響しています。通常的环境下でも妊娠、出産、子育てには多くの困難がありました。今後は一層状況が悪化する可能性があります。これまでの生活相談ではない、新たな相談（ごく具体的な子育て相談）も想定し準備していきます。

2019年度締めくくりのお仕事、しあわせマップ完成しました！！



心地よく生きることができ
街づくりのための「キーワ
ード」と協働できる社会資源を
マップにしました。ワーク
ショップをきっかけに既に新
しいつながりが動き始めてい
ます。既存の資源を活用する
ことで街が変わる。つながの
は私たちひとりひとりです。

2020年1月26日（日）に実施した「しあわせなまちづくりワークショップ」。事の始まりは2019春の統一地方選の折、子育て世代と市議選立候補予定者に集まっていたいただき開催した「ガチトーク」でした。会は未来の政策に子どもと子育て世代の意見を反映させるために、まずは選挙に行こうよ、若年層の投票率を上げようよ！！というのが一番の狙いでした。投票率は相変わらずでしたが、参加者のみなさんにとって佐世保について考えるきっかけになったようです。この企画後、投票以外に自分たちはこの町のために何ができるだろうかと考えました。そこでそれぞれが行動する指標を作ろうと「しあわせなまちづくりワークショップ」の開催を決めました。会ではひとりひとりが「幸せ」ってなんだろう？と考え語り合いました。当日の会場にはたくさんの方が行き来していました。その言葉に込められた思いを受けとめて整理し、形になったマップです。

あれからひと月足らずの時間を経て、今、新型コロナウイルス感染症問題の渦中、私たちは切実に暮らしと命が脅かされることの恐怖を感じています。世界中に不安や不満が蔓延し、自分さえよければいい！という行動に絶望的な気持ちにもなってしまいます。この悲しい局面に至り、私たちは幸せについて講演して下さった石坂先生のお話や各テーブルで思いのこもった言葉をつないで下さったみなさんの存在に改めて希望を抱きます。うれしいことに「マップ」をもとにすでに新たな動きが始まりました。このマップは進化していきます。

進化とは何か…

私たちの多くは戦争の体験がなく、また進歩した科学の恩恵を受けて暮らしてきた世代です。また佐世保市は近年の大災害の被害を大きく受けずに過ごしてきました。過去の歴史を振り返ると戦争や疫病や感染症などの負の体験を経て、人類の進歩があることを知ります。であるならば、この危機を知恵と知識で乗り越えて未来を見出していくことができますように、みなさんと協力していこうと思います。



●これからのイベントや講座の予定●はしばらくお休みします。

4月からみんなの実家モンブレアを不定期で開けています！

不定期ですが、みんなの実家モンブレアに足を運び、家に風をいれ、いつでも使えるようにしています。緊急的に支援が必要なおとき、子育てのストレスできついから休みたいときなどに来ていただいてもいいなと思っています。先日はミシンでマスクを作りました。モンブレアはお庭が美しい家です。こんな素敵なお場所を支援の為に準備できることはとても幸せだと、マスクを作りつつ思いました。庭の木々に小鳥が訪れその鳴き声にも癒されます。一度是非足をお運びください。 関心ある方はお問い合わせください。

2020もうひとつの道標 表紙の続きのような…

2020年もうひとつ、ちいきのなかまにとって重要なチャレンジがあります。佐世保市では名切地区再整備計画があり、今ファミサポの事務所がある辺りもリニューアルされていきます。旧ふれあいセンター敷地内のファミサポ事務所は移転予定、移転先は多分受託団体で探すことになりそうです。さらに、ファミサポ事業自体がプロポーザルとなり選考会が行われます。ちいきのなかまも応募予定で、準備していく所存。

これまでちいきのなかまは専門職の皆さんにアドバイスを頂きながら仕事をしてきました。子どもと家族が大変な時代、今以上に専門職の方とのネットワークもさらに強化し、事業受託とともに子どもたちの幸せに貢献できる団体であることをめざします。



編集後記

通信80号は本当は3月中にお送りしたいと思っていましたが、かなり遅くなりました。80回通信を作ってきて、一度も書く事がない…と思ったことはありません。しかし、今回は、作業になかなか手がつきませんでした。コロナウィルス感染拡大の情報が次から次に届き、ただただ心配をしています。過去からウィルス感染が進化につながってきた…という言葉に終息後の社会に小さな希望の灯火を見出したいのですが、やはり、今は悲しくて不安です。どうぞ皆様ご自愛下さい。

NPO法人ちいきのなかま

- 入会・会員（正・賛助）会員継続のご案内
- 正会員：総会議決権あり 入会金¥1,000 年会費¥6,000
- 賛助会員：総会議決権なし 年会費¥3,000
- 主な特典：各種事業会員特別料金にてご優待
- 連絡先 NPO法人ちいきのなかま



〒857 0022長崎県佐世保市山手町9-19
携帯 090-9498-3608
E-mail:chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp
HP:http://chiikinonakama.boon.jp/